

## 各団体との意見交換について

### 1 目的

仙台市障害者保健福祉計画及び第3期仙台市障害福祉計画（以下「計画」）に基づき今後の障害者保健福祉施策を推進していくにあたり、障害のある方やその家族等のニーズを踏まえた具体的な施策を検討するために、障害者団体と意見交換を実施した。

### 2 概要

計画の概要及び計画に示された重点プロジェクト等について説明を行った上で、これらに係る意見交換を以下の6団体と実施した。また、併せて災害時要援護者登録制度の案内を行った。

### 3 団体名、実施日時、場所及び出席者等

#### (1) 高次脳機能障害連絡協議会・どんまいネットみやぎ（以下「どんまいネット」）

- ・ 平成24年6月28日（木）14時から15時30分
- ・ 仙台厚生病院
- ・ 協議会4名，市職員4名

#### (2) 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会（以下「仙団協」）

- ・ 平成24年7月5日（木）10時から11時40分
- ・ 福祉プラザ10階第2研修室
- ・ 協議会30名，市職員4名

#### (3) NPO法人 宮城県患者・家族団体連絡協議会（以下「MPC」）

- ・ 平成24年7月9日（月）10時から12時
- ・ 仙台市役所庄建上杉ビル2階会議室
- ・ 協議会9名，市職員5名

#### (4) 宮城県自閉症協会（以下「自閉症協会」）

- ・ 平成24年7月10日（火）10時30分から12時
- ・ 北部アーチルカンファレンスルーム
- ・ 協会10名，市職員3名

#### (5) NPO法人 仙台市精神保健福祉連絡協議会（以下「仙精連」）

- ・ 平成24年7月10日（火）18時から20時
- ・ 福祉プラザ3階 防災センター内
- ・ 協議会16名，市職員5名

#### (6) 財団法人 仙台市障害者福祉協会（以下「仙障協」）

- ・ 平成24年7月11日（水）10時から12時
- ・ 福祉プラザ プラザホール
- ・ 協会6名，障害者相談員10名，市職員3名



#### 4 意見交換における主な内容

##### (1) 計画全般に関する意見

- ・ 計画に実効性を持たせるためには、策定後、より具体的な事業案の検討が必要。(自閉症協会)
- ・ 障害者の高齢化への対応の具体的な計画が必要。(仙精連)
- ・ ふりがなの附記に加え、知的障害者にもわかりやすい「障害者保健福祉計画(概要版など)」にするための工夫が必要。(仙障協)

##### (2) 重点プロジェクトに係る意見

###### ① 震災からの復興施策の推進

- ・ 高次脳機能障害者が過ごしやすい福祉避難所のあり方の検討。(どんまいネット)
- ・ 災害時支援につながる民生委員等への高次脳機能障害に関する情報提供が必要。(どんまいネット)
- ・ 指定避難所職員に対する福祉避難所に係る情報の周知徹底が必要。(MPC)
- ・ 障害者福祉センターへの発電機の配備の推進。(MPC)
- ・ 療育手帳再判定時の災害時要援護者情報登録制度の案内の実施。(自閉症協会)
- ・ 災害時における障害児支援のためのボランティア派遣。(自閉症協会)
- ・ 災害時要援護者情報登録では携帯番号の記入が有効。(仙精連)
- ・ 災害時における診療所利用などの観点からの医師会等と事前の協定締結が必要。(仙障協)
- ・ 障害者が指定避難所を経由せずに直接福祉避難所に避難できる制度の構築。(仙障協)
- ・ 町内会の班単位を対象とする災害時要援護者情報登録制度に係る「出前講座」の開催。(仙障協)
- ・ 聴覚障害者が避難所で過ごしやすくするための案内表示等の充実や手話通訳者の配置。また、車椅子利用者が過ごしやすいスペースの確保。(仙障協)
- ・ 福祉避難所における平常時からの水や電気等の確保策の充実。(仙障協)

###### ② 障害児への支援の充実

- ・ 利用者のニーズに合わせた放課後等デイサービスの拡充。(仙団協)
- ・ 特別支援学校卒業予定者が通いやすい場所での生活介護事業所の開設。(仙障協)
- ・ 学校における障害の理解が促進する特別支援学級における特別支援教育の継続。(仙障協)

###### ③ 就労支援体制の推進

- ・ 就労支援では企業関係者と連携した取組みが必要。(どんまいネット)
- ・ 一般就労した後に退職した障害者の再度の就労訓練体制が重要。(どんまいネット)
- ・ 手帳を所持していない難病患者の就労支援体制の強化。(MPC)
- ・ 難病患者の疾患名開示による就労(継続も含む)が困難であるという課題への対応。(MPC)
- ・ 発達障害者(自閉症)の就労支援の充実(自閉症協会)
- ・ 授産製品の販売促進など福祉的就労支援の充実。(仙障協)
- ・ 精神障害者の就労支援は就労支援センターも含め一層の情報提供が必要。(仙精連)

④

#### 精神障害者への施策の充実

- ・ 精神障害に対する地域での偏見に係る家族からの相談への対応が必要。(仙精連)
- ・ てんかん患者の相談支援の充実と就労支援等における企業への理解の拡大。(仙精連)
- ・ 災害時における、かかりつけ病院等により薬を届けるなどのアウトリーチによる支援の充実。(仙精連)
- ・ ケアホームによる支援だけではなく、重い精神障害者を受け入れる体制整備が課題。(仙精連)
- ・ ピアサポートの希望の増加に伴うピアサポーター育成の拡大。(仙精連)
- ・ 退院後すぐに利用しやすい地域活動支援センターによる支援の充実。(仙精連)
- ・ セルフヘルプグループなどの更なる周知が必要。また、早期発見・早期治療のため小中学校からのメンタルヘルスプロモーションが必要。(仙精連)
- ・ 親の高齢化等による養護環境の変化に伴う精神障害者への支援が課題。(仙精連)

⑤

#### 障害の重度化・多様化への対応の強化

- ・ 高次脳機能障害者支援では個人のサポートファイル作成及び活用が有効。(どんまいネット)
- ・ 旧B型通園事業対象者など医療的ケアが必要な利用者の増加に伴う施設等への看護師の安定的な配置。(仙団協)
- ・ 医療的ケアが必要な障害者が利用しやすいショートステイ事業の充実。(仙団協)
- ・ 医療的ケアが必要な障害者が選択できる住まいの場の確保。(仙団協)
- ・ 難病発症後、障害福祉サービスまでつながることが大変な場合も多く、初期の相談支援や医療機関等との連携が重要。(MPC)
- ・ 難病医療相談会の充実。(MPC)
- ・ 難病患者の家族支援が途切れたとき利用できる制度や施設の整備(MPC)
- ・ 患者数が少ない疾患の患者会などへの立ち上げ支援が必要。(MPC)
- ・ 自閉症の障害特性に対応できる支援者養成の拡大。(自閉症協会)
- ・ 自閉症の障害特性に対応できる住まいの場の確保。(自閉症協会)

(3)

#### その他

- ・ 同性介護の観点から、男性介護者の確保策が必要。(仙団協)
- ・ 障害者総合支援法において難治性疾患克服研究事業対象130疾患以外の疾患がサービス支給の対象となるか不安。(MPC)
- ・ パニック時の自閉症児への対応の場合など、虐待と誤解されてしまう課題。(自閉症協会)
- ・ 保健・医療における障害者が受診しやすい検診の充実。(仙障協)
- ・ 各区に1箇所程度、障害のある女性が婦人科検診を受診しやすい病院が必要。(仙障協)
- ・ ケアホームやレスパイト利用に係る事業実施法人に所属していない障害者が利用しやすい仕組みの構築。(仙障協)
- ・ 障害者相談員は町内会など一層の連携が必要。(仙障協)